

2016年2月1日 発行 (VOL.150)

みんなの広場NEWS



ちょうふくん

〒182-0026 調布市小島町2-33-1 文化会館たづくり 11階
生涯学習交流推進課 生涯学習情報コーナー TEL042-441-6155

みんなの広場で2月8日(月)から14日(日)まで「調布きりえあざみの会きりえ展」を開催します。同会の遠藤きみ子さんからご寄稿いただきました。

「きりえ」とは、一枚の紙をカッターで切り抜き、一枚の絵に仕上げるもので、白黒作品に限らず、色紙を使ったり、絵の具で彩色したりして表現し、個性を盛り込んでいきます。

例会では、初めの30分は当番が用意した野菜・果物・花などをスケッチし、その後は各々の作品創りで困っていることなどを教え合います。「調布きりえあざみの会」は、37年前(1979年)調布市公民館の切り絵講習会に参加したメンバーを中心にスタートしましたが、創立以来、指導者は置かず、会員同士で教え合い勉強を続けてきました。

現在、会員は40代から80代の20人ほどで、最近あまりスケッチに出かけなくなった年長の会員は「家の中で座っててできるのよ」と“ほたる狩り”“川あそび”など幼かった頃の思い出を題材にして制作し、年を重ねてなお、きりえ創りを楽しむ素晴らしさを教えてくれます。

例会は、月1回、日曜日の午後1時半から4時半まで、文化会館たづくり学習室で行っていますが、そのほかに年2回、きりえの題材探しにスケッチに出かけています。そのうちの1回は、「一泊研修旅行」と銘打って近郊に出かけ、親睦を深めて楽しんでいます。



「今年も見事に咲きました」 遠藤きみ子



「ざくろ」 霜島亜紀子



「ハイビスカス」 五十嵐鈴子

展示会は年3回ほど開いています。メインの「あざみ展」は、今年30周年を迎えます。9月には神代植物公園で「植物きりえ展」、そして今回「みんなの広場」でのきりえ展は、「生まれ変わったら何になりたいか」というテーマで行います。例年「みんなの広場」では、「調布の風景」「童謡」「唱歌」「昔話」などテーマをもって取り組んできました。

今回のテーマは夢があり楽しそうだけど難しい! みんな生まれ変わったら何になりたいのでしょうか? どんな作品が並ぶかどうぞお楽しみに。

●これまで参加したことのない実際のサークル活動に、気軽に一步足を踏み入れ体験することによって、その楽しさや魅力を見つけてもらおうと、生涯学習交流推進課では生涯学習サークル体験事業を行っています。その体験に参加された方から感想が寄せられましたのでご紹介します。

☆レディースフラ（フラダンス：平成27年10・11月実施） 大塚京子さん

初めてフラを体験しました。先生は陽気で若々しい方でした。フラの動きは脳にもよく、若返り効果が期待できるようです。お話を聞いているだけでワクワク。足の動作を練習したあと、ブルーハワイを習いました。色気があって美しいフラです。続いてカマヌの練習を少し。リズムカルでとてもいい曲です。上手に踊れたら最高の気分を味わえるでしょう。



最後は体操の先生指導による脳トレ体操。体をほぐしながらの大笑いは、心までほぐしてくれそうですね。みなさんフレンドリーで和気あいあい。フラは心も体も元気になってくれて、踊っていると幸せな気持ちになります。覚えるのに少々時間がかかりそうですが、今後もずっと続けていきたいと思います。

☆調布・桜いきいきクラブ（スポーツ吹矢：平成27年10・11月実施） 林 芳子さん

私の視力はここ1年～2年の内にあれよあれよという間に0.3～0.4に落ちてしまい、現在は新聞や雑誌を読むのにも、老眼鏡と拡大鏡を使っている。毎日の生活にも変化がなくそんな時に市報を見て、今日の吹き矢講座に参加してみた。視力が弱いので無理かなあと一瞬考えたが生まれて初めての体験でとても楽しかった。不勉強で最初は距離を飛ばすだけの吹くものかなあと考えていたが弓道のように厳かな基本があり、礼儀から呼吸法の作法があって大変勉強になりました。

近距離での的も眼科の検査のマークに見え、霧のようにかすんで見えるが、いざやってみるとすごく楽しい体験で応募して良かったと思いました。超高齢者時代となり、自分がこんなに早く心も体も衰えてくるなんて想像もしなかったのに指導の先生のユーモアある上手な教え方で良い一日でした。ありがとうございました。



※「私のサークル活動」（写真とコメント）を募集しています。生涯学習情報コーナーへお申し出ください。